

第48回教育サロンin熊本 教員×職員×学生 「学生の“分かる”という能力を確実に引き上げる 教育はどうしたら成り立つか？」 ～予習復習を習慣化させるLMS(manaba)の活用～

◆開催日時◆

10月5日(土)13:00～17:30

◆会場◆ **情報交換会18:00～**
熊本学園大学新1号館3階131教室
熊本市中央区大江2丁目5-1



◆開催に向けた想い◆

「学生を伸ばすこと」「学生とどう向き合うか」など、ご自身の問題として日頃考え、工夫を重ねておられる先生や職員の方が、経歴、立場、専門分野、授業内容、向き合っている学生などの違いを超えて、ざっくばらんに語り合う場を作ろうとの思いで開催いたします。話題提供は用意していますが、その内容にとらわれることなく、触発されて浮かび上がった先生方の日頃の思いやワクワク感、嬉しかったことや悩み、学生さんのお話などを、心ゆくまで話し合い、共有することで、新たな意気込みが湧いてくる場になればと思います。お忙しい折とは存じますが、是非お越しいただき、充実した時間を過ごしていただければ幸いです。

◆プログラム◆

| | |
|-------|--|
| 13:00 | 会場校挨拶 熊本学園大学 遠藤 隆久氏 |
| 13:10 | 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」*場創りを一緒に体験していただきます |
| 14:50 | <p>★熊本学園大学 経済学部教授 笹山 茂氏★</p> <p>「経済学部に入学者の多くが最初につまずく壁は「ミクロとマクロ」という数理分析が必要な経済学です。どこの大学の教員も学生たちがその壁を乗り越えるために、当然、悪戦苦闘してきたはず。学生が予習をする、授業時間内に理解することに集中する、復習をして理解を深めるというアクティブ・ラーニングに取り組むことは、積み重ねが不可欠な科目にとっては必要になります。LMSを利用したらそうした効果が上がるのか、その利用方法も含めて模索した 5年間の実践を検証してみました。</p> |
| | <p>役職・立場などの違いを乗り越えみんなで学び合いましょう。</p> |
| 15:40 | 話題提供をふまえてグループでふりかえり、全体共有 |
| 17:20 | 閉会の挨拶 (17:30終了) |



発起人：追手門学院大学 アサーティブ研究センター研究員 池田 輝政氏

【プロフィール】専門は高等教育経営学、教育学。九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。教育職員の高度化を目的とする大学院(大学・学校づくり研究科)を立ち上げ、国公立の大学教員のための授業開発研修会、大学および初等・中等学校の指導層への戦略開発研修会に赴くなど、教育と経営の両分野の課題解決に向けて指導とコンサルティング活動を行う。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。著書に『成長するティップス先生—授業デザインのための秘訣集』(戸田山和久・近田政博・中井俊樹と共著)等。



発起人：福岡大学 名誉教授 山口 住夫氏

【プロフィール】福岡大学名誉教授。工学博士。専門は流体工学。福岡大学工学部機械工学科卒業。学生が主体的に学ぶ授業や日頃の学生との関わり方に強い関心を持ち、学内情報システムに教育支援システムを構築し、福岡大学教育開発支援機構・教育サロンを立ち上げてサロンマスターを担当、さらには九州教育サロンを立ち上げ・運営にも尽力された。



■参加費 無料 (情報交換会のみ 会費:4000円)

<https://kokucheese.com/event/index/573436/>